

松田町に入込客を増やすために



質問者
飯田 一 議員

どこの町でも人口減少に悩んでいます。松田町でも人口が1万1千人を割ろうとしています。人口増加を果たすためには、松田町に人を呼び込み、町を知ってもらうことが大事なことを考えます。そこでお尋ねします。

寄地区には「やどりき水源林」があります。ここには県の成長の森があり、森林セラピーも体験でき、毎週土曜日・日曜日には、森林インストラクターが案内をしてくれます。

しかし、松田町を紹介



やどりき水源林区域にある県の「成長の森」

する観光パンフレットには紹介されていません。町も県と一体になり、ひとつの観光スポットとして広報を強力に推進することにより、更に入込客の増加が図れると思います。「やどりき水源林」をどのようにお考えですか。

A



観光客の開拓に「やどりき水源林」を活用
回答（町長）

「やどりき水源林」では、神奈川県森林インストラクターによる水源林ミニガイドが年78回、「やどりき森へ行く」のイベントが年3回、約400人の集客が見込める「やどりき水源林のつどい」が開催され、ほとんどの方が町外から来られています。

松田町を紹介するパンフレットは、「ハイキングガイドブック」と「よこそ松田町観光ガイドブック」があるが、この二つのガイドブックについて、平成29年8月の改訂発行に向けて現在、校正作業を進めている。

地方創生に伴う寄地域の活性化について



質問者
齋藤 永 議員

交流人口増加を図るため、農林業と連携した観光事業を進めていく中で、「やどりき水源林・森の案内人」事業は、不可欠となるので、今後も同ガイドブックの内容を更新しつつ、連携して周知を図っていききたい。

町では、地方創生交付金で、寄ヒーリングヴィレッジ（YHV）を創出するプロジェクトに取り組んでおり、愛犬との共生も含め、寄地域全体の賑わいを創出するため事業を展開しています。自然休養村管理センターやみやま運動広場の魅力的な整備は、スポーツ環境や地域コミュニティ、地域の活性化、雇用創出と

して進めることが喫緊の課題とされています。地方総合戦略の重要課題に、ブランド力の向上とオール松田でもってなしと明記され、環境を活かした観光・交流事業を進め、来訪客を増やしていくとあります。大井松田ICから25分の場所にある、みやま運動広場を多目的スポーツ施設として、魅力的に整備するこ

A



YHV推進協議会の議題としたい
回答（町長）

とが寄地域の活性化につながると思いますが、どのようにお考えですか。

みやま運動広場をスポーツの正式な大会が、開催可能となるように整備を行うことで、更なる交流人口を増加させ、宿泊や地域産業の振興をセットで取り組もうとする内容は、大変魅力的なものである。寄地区を創生する手段としても、大きな可能性を秘めたものと理解している。

ただし、整備に関する費用、地権者の理解、現在の利用者との兼ね合いの問題を解決しなければならず、YHV推進協議会の議題としたい。